



Weekly Report

2024-25



60th
Anniversary

創立/1965年5月22日
例会日/毎週木曜日 PM12:30~
会場/江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金112
0587-54-8132

事務局/江南商工会館 別館1F
TEL/0587-55-6554
FAX/0587-59-7720
URL/https://www.kounan-rc.com
Mail/kounanrc@beach.ocn.ne.jp
会長/南村 朋幸 幹事/三輪 慎一郎 会報委員長/横山 史明



2025年(令和7年) 6月12日(木) 晴れ 第2838回(当年度第35回 例会)

点 鐘
司 会

ロータリーソング斉唱

四つのテスト斉唱

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶



会長 南村 朋幸君

皆様、こんにちは！今日の会長挨拶は、先日行ってまいりました台湾潮州ロータリークラブのお話をさせていただきます。

まずは1日目、セントレア空港に7:55集合！皆さん、しっかり時間を守り誰1人遅参する事なく集合しました。お一人だけあまりにも早すぎる集合された方はいたようですが、今回は業者さんとして江南観光社の加藤さんが

早い時間から待機して下さり、チェックインもスムーズに終わることが出来ました。その後、保安検査を通り出国手続きを終え、無事ゲートをクリアした我々は出発時間だけ確認し合い、それぞれ各々が免税店や飲食店へ。その後、フライト時間に何事もトラブルもなく無事台湾台北へと飛び立ちました。

約3時間の飛行時間を経て台北桃園空港に到着して、ボーディングブリッジに足を踏み入れた瞬間、感じたのはただ「暑い」の一言でした。滞在中、天気も危ぶまれましたが、結果的には3日間とも晴天に恵まれ…恵まれたと言っているのか迷うほど良すぎるお天気でした。なので、3日間通して日中は32℃程あったと思います。南国特有のジリジリくる日差しが肌を刺す陽気で、特に女性陣はさぞかし日焼け予防に大変だったことでしょう。そこから高雄に向かう新幹線に乗る為、駅へとバスで向かい新幹線に乗車しました。

約一時間半で高雄の駅に着き、改札を出たところで、出ました潮州名物「熱烈大歓迎」。本日の会報にある通り、大勢の潮州クラブのメンバーがとても大きな横断幕を持って、ハワイさながらのレイを全員の首元にかけてくれます。周辺の人々は「何事だ？」「誰か有名人でも来たのか？」と言わんばかりの注目度。去年に引き続き、潮州クラブの熱烈な歓待ぶりにまずは度肝を抜かされました。

そこからバスで一泊目のホテルコッツィに入りチェックインも慌ただしく再びバスにておよそ一時間で潮州クラブの式典会場に到着。そこでの入り口でも潮州クラブの歓待ぶりが熱烈で、人垣の間を通り抜ける形で皆さんにとってもとても歓迎され感激いたしました。

式典そのものは厳かというより、華やかな雰囲気や軽やかなBGMが鳴り会場からは事あるごとに歓声が起こります。特に「乾杯」といった発声もなくテーブルごとに飲み始めるといった感じです。あと、ロータリーソング斉唱があったのですが、聞いたことない歌で、台湾のロータリー独特なものなのか、それともワールドワイドなものなのか、知る由もありませんでした。

fbranch@rotary2760.org 二次会も用意されており、参加者は潮州クラブの面々および、同じく姉妹関係にある日本の「都城北ロータリークラブ」の3クラブのみでした。実はその二次会の場で、都城北RCの方に持ち掛けられた話がありました。それは、来年の国際大会がちょうど台湾での開催なので、潮州と都城北と江南の三姉妹合同で台湾での宴を企画しませんか、とのお話でした。もちろん、来年のお話なので、澤田さんが判断される事だということで、その場での言及は回避いたしました。尾関幹事には面通しをさせて頂いたので次年度でご検討ください。

二日目は、観光をしながらバスと新幹線を使い、二泊目の宿「加賀屋」に入りました。異国の地とは思えないほどある意味「純和風」な温泉旅館であり、日本によくあるゴージャスな作りの温泉旅館ホテルといった感じでした。料理も和食を中心としており、台湾料理にありがちなパクチーや八角といった香辛料もほとんど使わず、ある意味私たちの舌になじんだホッとする味で美味しかったです。ここでの宴会も盛り上がりを見せ、そのままの勢いで二次会で余市にも行きました。

三日目は少々昨日の疲れも残しながら、少し観光をして、夕刻に帰路につきました。

今回の台湾訪問で感じたことは、潮州クラブの方々が我々の思っている以上に、私たちのことを大切に思ってくれていること。台湾の国自体が南国特有の陽気な方々が多かったということ。都会の都会ぶりが日本にも全然負けていないということ。台湾の歴史を我々日本人はもっと知るべきだと思ったこと。そして最後に、やはり片平団長の団長が団長たる由縁に対し三日間を通して心新たにゆるぎないものとなりました。場面場面で、台湾について語られるのですが、その思いが溢れ長くなりがちなのは、致し方ないことだと諦め…もとい、認識した次第です。

一緒に参加された皆さん本当にありがとうございました。

挨拶は以上です。

本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告 -別紙- **幹事 三輪 慎一郎君**

出席報告 **委員 松野 拓也君**

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
55名	41名	14名	78.85%

ニコボックス **委員 松野 拓也君**

○周年の／柱となった／五常任担当事業の企画と設営お疲れ様でした。

南村 朋幸、永田 広光、三輪 慎一郎、北畑 祐二
各君

○ロータリー財団常任委員会の「一年を振り返って」を
発表させていただきます。

猪子 明君

○本日、奉仕プロジェクト常任委員会の報告をさせて頂きます。マルシェではお世話になり、ありがとうございました。

中村 耕司君

○本日は卓話、新会員ミーティング、新会員歓迎会とお世話になります。よろしくお願いいたします。

濱島 聡一郎君

○一年を振り返ります。

山崎 博征君

○6/12(木)一年を振り返って5常任委員会

波多野智章君、山崎博征君、濱島聡一郎君、猪子 明君、中村耕司君 よろしく願い致します。

松岡 一成、杉浦 賢二、岩田 静夫、松本 哲一、長瀬 晴義、木本 寛、岩田 進市、近藤 道磨、田岡 剛

各君

卓話

クラブ管理運営常任委員長 波多野 智章君
(代読 田中 健君)



まずはプログラム委員長という立場にもかかわらず本日欠席並びに代読にて発表いたしますことをお詫び申し上げます。

本年度は創立60周年ということで通年のプログラムとは違い、橋下徹さんをお呼びしての記念講演会、記念事業として江南マルシェinHOTEL、そして先月の記念祝賀会と大きな3つの事業が開催されました。どの事業におきましても南村会長・伊藤靖祐実行委員長のリーダーシップのもと各担当の責任者の皆さん、そしてメンバー全員のご協力により無事に終わりましたことを本年度のプログラム委員長として感謝を申し上げます。また例会に於いてはS、T、Sの矢場とんホールディングス鈴木社長の卓話をはじめ、各プログラムについては会長・幹事には大変お世話になりました。

クラブ管理常任委員会としては、9月5日のクラブフォーラムにおきまして「ロータリーを語ろう」をテーマに古田嘉且君、田中健君、林庸介君とのディスカッション形式での設営とさせていただきました。古田さんからはロータリー活動の本質的な部分を、特に入会年度の浅いメンバーに向けてご教示いただき有難うございました。掌握委員会である例会運営委員会、親睦活動委員会の委員長並びに委員会メンバーの皆さんには毎回の例会運営に於いて、それぞれがそつなく役割を全うしていただいたことで大変締めりのある1年間になったと思います。有難うございました。

例会運営委員会田中委員長に於かれましては、「ロータリーの基本はクラブでありクラブの基本は例会である」という言葉に忠実に、今までにはないLINEを使った出席要請、確認により出欠席を密に管理し、大変高い出

席率を維持していただき有難うございます。また食事の数もほぼ間違えなく、フードロスや経費削減の視点からも大変素晴らしい例会運営だったと思います。また一方の親睦活動委員会の内田委員長に於かれまして一年間お疲れ様でした。12月の年忘れ家族会に於いては、大変多くのメンバー並びに家族の皆様に参加をいただき、楽しく家族の皆様にとって思い出に残る60周年にふさわしい家族会を開催していただき有難うございました。

そして5月の創立60周年記念祝賀会に於いても田中委員長には当日の進行、内田委員長にはアトラクション担当ということであまり準備する時間が無い中役割を振らせていただきましたが当日は完璧にやりきっていただき、二人のおかげで無事に進行をすることが出来ました。またこの祝賀会の折にもメンバーの皆さんにはゲストのお迎え見送りははじめ、各役割に於いてメンバーそれぞれが積極的に動いていただいたことにより終えられましたことを改めてお礼申し上げます。

一年間大変お世話になり有難うございました。

会員増強常任委員長 山崎 博征君



本年度、会員増強委員長を務めさせていただきました、山崎です。

本年度、入会いただきました8名の新入会員の皆様、改めてご入会いただきありがとうございます。

振り返ってみますと、江南ロータリーで最年少の私が会員増強委員長を拝命させていただいたことは、正直荷が重く感じておりました。60周年という節目のプレッシャーももちろんありましたが、年齢も若い、年数・経験も少ない私に何ができるのだろうか、考える日々でした。自分の人生を振り返っても、人を集める事がお世辞にも上手ではなく、そんな人間でもないことは重々分かっておりました。

そこで、では自分は何ができるのだろうと自問自答しているさなか、南村会長が先陣を切って次々と入会を決めてくれたことで、自分の中でどのように進めていくのか方向性が定まってきました。

戦略を決め、メンバーの皆様をお願いして頼るしかない。でした。

その結果、8名の入会者に繋がりました。今年1年会員増強委員長を務めて経験できたことは、私の人生でも重要な1年になったと思います。人間一人では何もできない。特に若く無知であれば本当に何もできない。だからこそ目指す方向を決め、たくさんの人に応援してもらい助けていただくことで、道が開けることを再認識できました。当初会員数60名を目指し12人入会の目標を立てましたが、結果として8名の入会で目標到達できま

せんでしたが、大きな成果を得ることができました。この1年振り返って思うことは、この結果が出た大きな要因は、南村会長がスタートダッシュで入会を決めてくれたことで、メンバーの皆さんと共に会員増強に注力できたからだと思います。これからは、今年入会された新入会員のみなさまと楽しくロータリー活動ができるように努めていきたいです。

公共イメージ向上常任委員長 濱島 聡一郎君



本年度、公共イメージ向上常任委員会の委員長としてお世話になりました濱島です。

60周年を舞台に、長く、とても中身の濃かった壮大なドラマがもう間もなく最終回を迎えようとしています。まだまだこのドラマの続きを観ていたいような、しかし次に始まるドラマも楽しみなような、どこかもの悲しい複雑な気分に浸っております。とは言え、委員会の業務としてこの卓話を終えた後の新会員の方へのミーティング、そして夜には再び皆さまとの新会員歓迎会、あと僅かに迫っているマイロータリー100%登録の達成が控えております。クラブの皆さまにお願いを申し上げてばかりですが、もうあと少し、委員会の事業にお付き合いをいただきたいと思います。

さて、公共イメージ向上常任委員会と60周年の実行委員の仕事を取り返りますと、クラブのホームページのリニューアルに始まり、サイト情報の定期更新、周年事業の広告紙面の作成、マイロータリーの状況把握と登録促進、そして記念講演の集客方法の考案とチケットぴあを利用した委託販売など、ノウハウさえも分からない仕事が多かった事に加え、本年度は新会員の入会が多く、古田嘉且さんと共に実施した候補者への面談は8回に及びました。どの仕事も一筋縄では行かず、時間にも追われ、相当な負担を感じる局面もありましたが、南村会長はじめ執行部の皆さまは、「試練」ではなく「機会」を与えてくださったのだと自分に言い聞かせつつ、誰よりも強い思いで突き進んでこられた会長の圧倒的熱量に背中を押されながら、どうにかゴール目前まで来ることができています。

特に記念講演に関しては、今回初めての試みとなったチケット販売の事が常に気がかりで、チケットぴあでの販売開始後はスマホで販売状況ばかりを眺める日々が続きました。そんな小心者の私とは対照的に、実行委員として記念講演の準備に携わっていただいた片平さん、山崎さんは終始どっしりと落ち着いており、本当に頼りになりました。事務局の渡邊さんにおかれましては私の至らぬ点に先回りをするように、いつも絶妙なアシストをくださいました。毎年の事ながら大変感謝しております。最後の最後に岩田静夫さんの神がかり的な

お助けをいただきながらチケットを完売することができ、混乱なく満員になった大ホールの熱気と、たくさんの市民が我々の事業に賛同し、募金にも協力してくださった喜びは生涯忘れることはないと思います。ロータリークラブのメンバーになっていなければ絶対に得られなかった大きな財産です。

結びになりますが、多くの方に年度前半で濱島は燃え尽きてしまったのかとご心配をおかけしてしまいましたことと、そして年度後半からは諸事情により時間がとられ、全くクラブの力になれなくなってしまったことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

私のような小兵にも貴重な機会を与えてくださった執行部の皆さま、そして委員会事業にご理解とご協力をいただいたクラブの皆さま、一年間本当にありがとうございました。

ロータリー財団常任委員長 猪子 明君



ロータリー財団常任委員長として一年間お世話になりました。

ロータリー財団常任委員会は、ロータリーの会員が会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援していることの重要性に理解を深め、ロータリー財団、米山奨学会を支援する活動を実施してきました。

10/24にはロータリー財団委員会クラブフォーラムとして伊藤靖祐パストガバナーによるロータリー財団が果たす役割について、またポリオの現状などの解説をいただきました。また、10/3には杵本哲一米山奨学委員長によるクラブフォーラムを開催し、温故知新と題しまして歴代の米山奨学生イム ヒョンスさん(韓国)2001～2004、アーロン リトルさん(米国)2008～2009、フスレンさん(中国・蒙古自治区)2015～2017、カリムフ イスリムジョン(ウズベキスタン)2020～2021、タンヤビット シタンさん(タイ)2021～2023によるそれぞれ現在の状況を伝えるビデオメッセージがあり、後半は現在の米山奨学生であるカオ リイエン ニーさんの卓話をいただきました。

寄付につきましては、メンバーの皆様より、年会費を収めていただくタイミングにて、ロータリー財団寄付として22,000円、米山記念奨学会寄付として4,000円をいただきました。また、本日の例会にてテーブル上にありますが、エンドポリオ募金箱にての募金をお願いしております。来週まで続けますが、先週締めで約55,000円募金いただきました。厚く御礼申し上げます。

個人的に寄付されたメンバーを紹介しますと、ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)に伊藤靖祐君が、ポリオ・プラス・ソサエティ(PPS)に伊藤靖祐君、南村朋幸君、沢田

昌久君、マルチプルポールハリスフェロー(+2、+3、+4)に南村朋幸君、第7回米山功労者マルチプルに倉知正憲君、第4回米山功労者マルチプルに杉浦賢二君、第1回米山功労者に三輪慎一郎君より寄付いただき、例会時に皆様の前でピンや感謝状の贈呈をさせていただいております。

また、今年は60周年記念事業がありました。参加された市民の皆様からエンドポリオ募金をいただきました。橋下徹講演会では、チケット代金500円と出入口とエンドポリオコーナーにメンバーのお声がけでいただいた募金箱にて総額約780,000円、国際交流の集い・KONANマルシェinHOTELでは約76,000円の募金がありました。

改めてもう一度申し上げますと、ロータリー財団常任委員会は、ロータリーの会員が会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援していることの重要性に理解を深め、ロータリー財団、米山奨学会を支援する活動を実施してきました。メンバー一人一人のご理解ご協力をいただけたことに感謝しております。

また、60周年記念事業につきましては、岩田静夫SAAと中村耕司奉仕プロジェクト常任委員会委員長と私の三人が担当委員長として国際交流の集い・KONANマルシェinHOTELを開催させていただきました。南村会長の思い描いた構想を中村委員長が立案・具現化し、メンバー一人一人がご自身の役割を把握して活躍していただきました。私自身は、前例のない屋外イベント事業なので、当日まで天候の具合やコスプレイヤーの入りや何といったも外国人が来てくれるのかと心配ばかりしていましたが、南村会長の想いが全てに伝わり大盛況に終えることができました。この事業は、江南ロータリークラブ60年の歴史の中でも記憶に残る事業であったと思います。一年間お世話になりました。

奉仕プロジェクト常任委員長 中村 耕司君



【マルシェ事業報告にあたり】

江南ロータリークラブの会員の皆様の多大なるご協力をいただき、無事に事業を終えることができました。

特にブース責任者の方々には、運営方法の検討管理をお願いし積極的な活動にご尽力頂きました。そのお陰を持ちまして当日の臨機応変な現場合わせができて来場者の皆様におもてなしの精神を感じて頂けたと思っています。重ねて感謝申し上げます。

【天候】

当日の天気は小雨のち曇り最高気温18度、最低気温10度、風も比較的穏やかで、若干肌寒い程度の天候でした。

コスプレイヤーにとっては少し肌寒い程度の方が活動

しやすく、天候に恵まれ開催することができました。
当日は、小牧基地の航空ショーと重なり、時折ブルーインパルスが編隊飛行しながら、上空を飛行し、さながらマルシェ開催を祝福するような雰囲気で開催されました。

【来場者数など】

来場者数は3800名、
ロータリー参加者45名
各協カスタッフ80名

合計のサポートスタッフ125名にて開催しました。

【運営における組織的戦略に関して】

今回のマルシェは多数の体験ブースとキッチンカーによるアニメ飯の提供があり、到底1人で全てを統括管理する事は不可能と判断しました。本来であれば、プロの企画会社に依頼するレベルのイベントだと感じました。そこで今回は各ブースの責任者に全権委任する形で、運営方法や予算などまでお願いし、協力業者さんと打ち合わせしていただき、責任者会議にて報告していただくような組織運営で取り組みました。

当初Excelシートにて縦軸に各ブースにて行う確認項目(タスク管理)を列挙し、横軸に工程管理スケジュールを明記した表作成しましたが、確認項目があまりにも多く(200項目以上)、一見すると理解しにくいほどのボリュームになってしまいました。会議にてExcel表を用いて各ブースの確認を試みましたが、各責任者がなかなか自分事としてイメージが持てないようでしたので、途中から管理方法を変更しました。

必要と思われる項目を列挙し、さらに各ブースごとの各責任者が必要と感じた項目を追記したシートを作成し管理しました。その後はそのシートを用いて工程管理を行いました。各責任者が自分事として認識され、当日の運営をより具体的にイメージすることができ、事前に何を準備するのかなど、きめ細やかな対応が可能になりました。

マネージメント手法について多くのことを学ぶ機会を与えていただき、大変勉強になりました。

【会場の状況】

出展した各ブース全てが盛況であり、ほぼほぼ体験者が途切れる事はありませんでした。

ステージイベントも滞りなく行われ、ステージ前のテーブルは常に満席に近い状態でした。

司会者のアドリブも機転が効いており、フリーのフォトタイムもコスプレイヤーやコスプレ姿の来賓もステージに上がり、記念撮影等行って、退屈にさせないステージ運営ができました。

【コスプレイヤーに関して】

更衣室利用者が15名、持ち込みのカメラマンが3名、プロのカメラマン撮影が3組、事前販売することができました。初めて開催するイベントとしては、今回の参加者数は目標クリアできたと思います。

さらに、更衣室を利用せずに、自宅からコスプレ姿で来場される方が意外と多く、約30名程度来場していただき、合計で50名近いコスプレイヤーが場内を歩き回りイベントを楽しんでいただくことができました。

また、現場担当者の当日の機転の効いた対応により、プロのカメラマン撮影当日券が2組販売することができました。

前売りチケット、コスプレ更衣室利用800円、カメラマン1,000円で販売したら、カメラマンから、「コスプレの方が安いのは違和感を感じる」をご意見いただいた。

【フォトスポットに関して】

背景が無地タイプ1セット、無地に見切りの布袋大仏タイプ1セット、計2セット用意したが、無料のフォトスポットには、無地タイプよりも、江南のランドマークであるす

いとぴあ江南タワーや曼陀羅寺の藤棚の背景の方が良かったのではないかと感じました。

【会場のレイアウトに関して】

前日の準備段階で、移動式植栽の位置決めの際に、当初会場の四隅への配置を予定していましたが、障害物である電灯に添わせて配置することで、会場内の空間が程よい囲まれ空間として成立し、閑散とした雰囲気を回避することができ、落ち着いたくつろぎ空間とすることができました。雨対策で急遽用意したテーブルスペースのテントがさらに高さ方向の立体感を生み、ステージを中心とした立体的空間が成立しました。これによってステージイベントに注目が集まり、アニメ飯などのキッチンカーの料理を楽しみながらイベントを楽しんでいただく総合エンターテイメントとして飽きさせない運営効果が発揮できたと思っています。

【会場警備に関して】

会場内の見やすいところに注意事項の看板を2カ所設置、盗撮禁止の手持ちプレート各警備員が持って場内を歩きながら、注意喚起したおかげで、事件や犯罪を未然に防止することができました。

【広報活動に関して】

中日新聞、尾北ホームニュース、ネット広報誌まいづれ江南などに掲載され、地元市民に情報発信することができ、江南ロータリークラブの奉仕活動を広く理解していただく機会となりました。

【ポリオ募金に関して】

体験ブースを無料開催したおかげで、特に抹茶体験においては、一般的にはワンコイン以上の費用がかかる事は周知されているようで、抹茶体験後のポリオ募金に協力して頂ける方が多数いらっしゃいました。総合受付のポリオ募金と合算し、約80,000円の募金をいただくことができました。

【駐車場に関して】

クレームになる心配もしていましたが、周辺のコインパーキングやトップバリューの駐車場を利用していただき、無難に対応することができたと思います。

【来賓のコスプレに関して】

来賓の沢田市長、村瀬県会、及び 南村ロータリー会長の3名にコスプレをしていただき、来場者が1番多くなる、お昼前にご挨拶をいただきステージ上で集合写真を撮り、その後3名揃って会場内を歩いていただいたら、とても多くの方から記念撮影を求められ、それならばと、フォトスポットに案内をしたところ、記念撮影待ちの列が発生し、市民との楽しいふれあいの場を提供することができたと思います。これもひとえに南村会長の起点の利いたサポートがあればこそその成果だと思えます。

【中村 所感】

今回マルシェ開催してみて、江南ロータリークラブは、他を思いやる精神が息づくメンバーが集い、楽しみながら困難にも立ち向かって行ける結束力のある団体であると確信しました。

記憶にも記録にも残るイベントが開催できてロータリアン冥利に尽きると感じております。

ありがとうございました。

以上 報告致します。

点 鐘

会長 南村 朋幸君

本日の食事



歓迎会の様子



総合司会は公共イメージ向上常任委員長の濱島君

テーブルクロスの変更



例会会場のテーブルクロスが新調され、今までに増して会場が神聖な空間になりました。皆さん、大切に使用していきましょう。

新会員歓迎会

開催日時 6月12日(木)

18:00～

会場 フレンチレストラン リリアヌ



ヘリポートのある《リリアヌ》さんでの開催となりました。【名古屋空港から遊覧飛行してからこちらでお食事】というプランで来店されるお客様がいらっしゃるような素敵なお店でした。



前半の部の司会は次年度の公共イメージ向上常任委員長の田中君



南村会長の挨拶



乾杯のご発声は倉知君



新会員挨拶



伊藤 由香君



青山 英明君



安部 聡司君



中山 健嗣君



成田 志穂君



古田 政一君



田中 弘一郎君

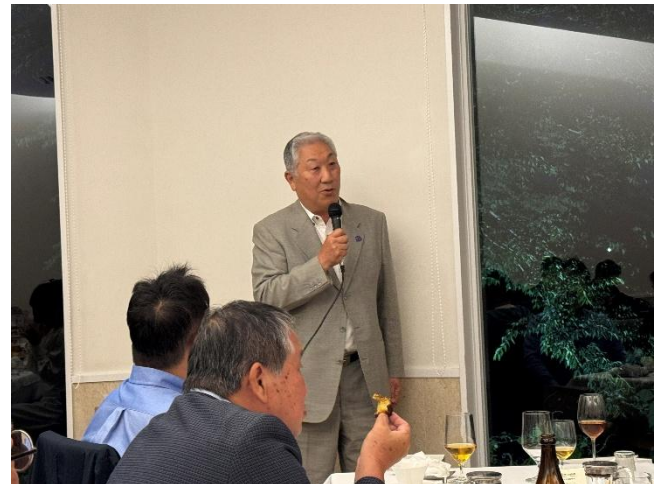
※素敵な奥様にもご参加いただきました。

残念ながら陸浦弘子君はご家庭の事情により欠席となりましたが後日、改めて挨拶いただくこととなりました。



会員増強常任委員長 山崎 博征君

60周年となる本年度は、南村会長・山崎委員長のもと、メンバー一丸となって増強活動した結果、8名の新たな仲間が誕生しました。
新入会員の皆様、これから共にロータリー活動を楽しみましょう！



締めめの挨拶 富田直前会長

ベストショット



成田君はご家族と共に参加。大切なお母様へ送ったメッセージも素敵でした！

お隣は幸せのおすそ分けを頂けた長瀬君

地区役員会長幹事懇談会

開催日時 6月14日(土)

18:00～

会場 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
当日は伊藤パストガバナー、南村会長、三輪幹事が出席し、南村会長が本年度当初から重点目標として掲げておりました【ガバナー特別賞】を見事受賞しました。



会報揭示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は

アカウントを作成してください。

※アカウントがある方は

ログインをご覧ください。



ROTARY 2760

アプリダウンロードはこちら



江南 RC 会報 YouTube

チャンネル登録はこちら

写真等ございましたら会報までお知らせください。

(担当 内田 吉信)